

東京理科大学と葛飾区との連携による公開講座



食文化交流史としての 中華料理

—— 近代日本と中国の間 ——

ラーメンや餃子など「町中華」から、最近話題の「マーラータン」まで、
おなじみの中華料理は、いつ、どのようにして日本へ渡り、独自の進化を遂げたのか。
この講座では、身近なメニューを通して、明治以降の日中の歴史を紐解きます。
美味しい記憶と歴史が交差する、知的な学びの時間へようこそ。



2026 **8.26** (水)
10:30-12:00

会場 東京理科大学 葛飾キャンパス 講義棟1階 E101教室
葛飾区新宿6-3-1

講師 リ カイ エン **李 海燕** 准教授 東京理科大学 教養教育研究院 葛飾キャンパス教養部

お申し込み 東京理科大学の申し込みフォームからお申し込みください。
申込期間: **7/27** (月) 9:00 ▶ **8/18** (火) 17:00
定員に達し次第、募集は終了となります。



お問い合わせ ①東京理科大学 葛飾統括課 地域連携室 **03-5876-1546**
②葛飾区教育委員会事務局 生涯学習課 **03-5654-8475**
①・②とも問合せは平日9時～17時です。
※8月10日(月)～8月21日(金)の平日は、問合せ先は②のみとなります。

主催 東京理科大学 / 葛飾区教育委員会

状況により内容が変更になる場合があります。

